

プレスリリース

平成 26 年 10 月 30 日
農 林 水 産 省

「平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）」及び「平成26年産水稻における青死米等の発生状況」について

農林水産省は、「平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 15 日現在）」及び「平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況について」を取りまとめました。

平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 15 日現在）について

平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 15 日現在）のポイントは以下のとおりです。

- ・ 平成 26 年産水稻の作付面積（子実用）は 157 万 3,000ha で、うち主食用作付見込面積は 147 万 4,000ha が見込まれる。
- ・ 全国の 10a 当たり予想収量は 536kg（作況指数 101）が見込まれる。
- ・ 以上の結果、予想収穫量（子実用）は 843 万 8,000t が見込まれる。
また、主食用作付見込面積に 10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は 788 万 5,000t が見込まれる。
- ・ ふるい目幅別重量分布は 1.85mm 未満の割合が、過去 5 か年平均値と比べて 0.4% 多くなっている。

平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 15 日現在） については、以下の URL でも御覧になれます。

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y3

平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況について

平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況のポイントは以下のとおりです。

- ・ 平成 26 年産水稻における青死米等の混入割合は全国平均で 6.4%（サンプル数 1,001）であった。
- ・ 平成 26 年産青死米等の発生量は、過去の平均（一般社団法人日本精米工業会が行った平成 22～平成 24 年産調査）と比較して 2.1%の増加となっている。

＜添付資料＞

- ・ 平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10 月 15 日現在）（10 月 30 日 22 時差替）
- ・ 平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況

(1 / 2)

お問い合わせ先

「平成 26 年産水稻の作付面積及び予想収穫量」並びに「平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況」の調査の概要の 2 及び 3(1)に関する事

大臣官房統計部生産流通消費統計課

担当者：普通作物統計班 松原、野田 面積統計班 三橋、森田

代表：03-3502-8111（内線 3682、3681）

ダイヤルイン：03-3502-5687

FAX：03-5511-8771

「平成 26 年産水稻における青死米等の発生状況」の調査の概要の 3 の(2)、(3)、4 及び参考に関する事

生産局農産部農産企画課

担当者：米穀需給班 齋官（サイカン）、谷口

代表：03-3502-8111（内線 4975）

ダイヤルイン：03-6738-8973

FAX：03-6738-8976

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>

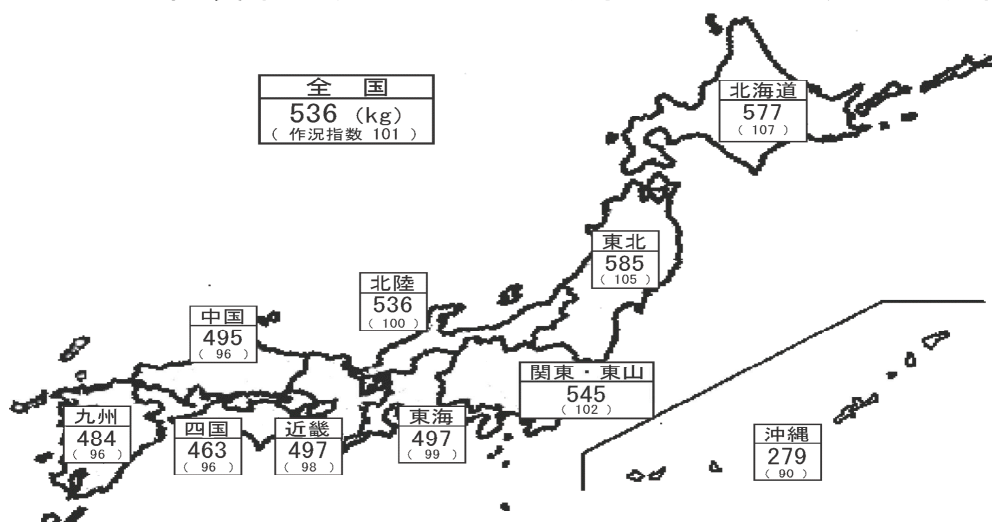
平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－ 水稻の10a 当たり予想収量は536kg（作況指数101）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 平成26年産水稻の作付面積（子実用）は157万3,000haで、うち主食用作付見込面積は147万4,000haが見込まれる。
- 2 全国の10a 当たり予想収量は536kg（作況指数101）が見込まれる。
これは、北海道から関東・東山では、登熟が総じて平年を下回っているものの、全もみ数が総じて多くなっていることから作柄がおおむね平年並み以上と見込まれる一方、東海以西では、日照不足・低温や一部地域での病虫害等の影響で全もみ数及び登熟が平年を下回っていると見込まれるためである。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000 tが見込まれる。
また、主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000 tが見込まれる。
- 4 ふるい目幅別重量分布について全国平均でみると、1.85mmのふるい目より下を選別される玄米の重量割合は4.2%と見込まれ、過去5か年平均値と比べて0.4%多くなっている。

図1 全国農業地域別10a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産数量目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	10 a 当 たり 平 年 収 量	作 況 指 数	参 考	
						主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)
	ha	kg	t	kg		ha	t
昭和60年産	2,318,000	501	11,613,000	481	104	...	...
61	2,280,000	508	11,592,000	484	105	...	...
62	2,123,000	498	10,571,000	487	102	...	...
63	2,087,000	474	9,888,000	490	97	...	...
平成元	2,076,000	496	10,297,000	492	101	...	...
2	2,055,000	509	10,463,000	494	103	...	...
3	2,033,000	470	9,565,000	497	95	...	...
4	2,092,000	504	10,546,000	498	101	...	...
5	2,127,000	367	7,811,000	499	74	...	...
6	2,200,000	544	11,961,000	499	109	...	...
7	2,106,000	509	10,724,000	501	102	...	...
8	1,967,000	525	10,328,000	502	105	...	...
9	1,944,000	515	10,004,000	504	102	...	...
10	1,793,000	499	8,939,000	507	98	...	...
11	1,780,000	515	9,159,000	512	101	...	...
12	1,763,000	537	9,472,000	518	104	...	...
13	1,700,000	532	9,048,000	518	103	...	...
14	1,683,000	527	8,876,000	522	101	...	...
15	1,660,000	469	7,779,000	524	90	...	...
16	1,697,000	514	8,721,000	525	98	...	...
17	1,702,000	532	9,062,000	527	101	...	...
18	1,684,000	507	8,546,000	529	96	...	...
19	1,669,000	522	8,705,000	529	99	...	...
20	1,624,000	543	8,815,000	530	102	1,596,000	8,658,000
21	1,621,000	522	8,466,000	530	98	1,592,000	8,309,000
22	1,625,000	522	8,478,000	530	98	1,580,000	8,239,000
23	1,574,000	533	8,397,000	530	101	1,526,000	8,133,000
24	1,579,000	540	8,519,000	530	102	1,524,000	8,210,000
25	1,597,000	539	8,603,000	530	102	1,522,000	8,182,000
26（見込み）	1,573,000	536	8,438,000	530	101	1,474,000	7,885,000

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

2 主食用作付（見込み）面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である（以下同じ。）。

3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10 a 当たり収量 及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている（21ページ【参考4】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移

		単位：％					
年 産	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
平成17年産	100.0	1.0	1.4	2.3	3.6	20.5	71.2
18	100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26（概数値）	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
平均 値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
対平均差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である（以下同じ。）。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

表 2 ふるい目幅別10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年 産		1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
平成17年産	10 a 当たり収量（kg）	532	527	519	507	488	379
18	10 a 当たり収量（kg）	507	502	496	485	467	370
19	10 a 当たり収量（kg）	522	518	513	503	488	394
20	10 a 当たり収量（kg）	543	538	531	520	503	414
21	10 a 当たり収量（kg）	522	518	511	500	483	393
22	10 a 当たり収量（kg）	522	519	514	505	493	424
23	10 a 当たり収量（kg）	533	528	521	509	492	404
24	10 a 当たり収量（kg）	540	537	531	523	511	441
	収 穫 量（t）	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10 a 当たり収量（kg）	539	535	528	517	503	425
	収 穫 量（t）	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26 （概数値）	10 a 当たり収量（kg）	536	532	524	513	499	420
	収 穫 量（t）	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
	対 前 年 比（％）	98	98	98	98	98	98

注：1 ふるい目幅別の収穫量（子実用）については、平成24年産より集計・公表を行っている。

2 ふるい目幅別の10 a 当たり収量とは、全国の10 a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

3 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【調査結果】

- 1 平成26年産水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から青刈り用の面積を除いた子実用作付面積は157万3,000haで、前年産に比べて2万4,000ha減少した。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は147万4,000haで、前年産に比べて4万8,000haの減少が見込まれる。

- 2 10月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、生育期間を通して天候に恵まれたことにより、全もみ数がやや多く、病虫害等の被害が少なかったことから、10a当たり予想収量は577kg（作況指数107）が見込まれる。

東北から関東・東山では、田植期以降7月にかけておおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じて多いないしやや多いとなっていることから、8月の日照不足等により登熟が平年を下回っている地域がみられるものの、東北の10a当たり予想収量は585kg（同105）、北陸は536kg（同100）、関東・東山は545kg（同102）が見込まれる。

東海以西では、6月以降断続的に低温・日照不足傾向となったこと等により、全もみ数が総じて平年並みないしやや少ないとなっていることに加えて、病虫害等の被害が拡大している地域もみられ登熟が総じて平年を下回って推移していることから、東海の10a当たり予想収量は497kg（同99）、近畿は497kg（同98）、中国は495kg（同96）、四国は463kg（同96）、九州は484kg（同96）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は536kg（同101）が見込まれる。

- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000tが見込まれる。

また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000tが見込まれる。

- 4 ふるい目幅別重量分布状況を地域別にみると、北海道、東北及び北陸では、総じて全もみ数が多かったことにより登熟が平年を下回っていると見込まれることから、1.85mmのふるい目より下に選別される玄米の割合（以下「1.85mm下の割合」という。）が過去5か年平均値（以下「平均値」という。）に比べて、それぞれ0.2%、0.5%、0.2%多くなっている。

関東・東山では、登熟が平年並みに推移した地域があり、1.85mm下の割合が平均値に比べて0.4%少なくなっている。

一方、東海以西では、日照不足・低温等により登熟が平年を下回っていると見込まれることから、東海で1.85mm下の割合が平均値に比べて1.1%、近畿は同0.4%、中国は同1.0%、四国は同1.1%、九州は同1.4%多くなっている。

表 3 平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作 付 面 積（子 実 用）			10 a 当たり 予想収量 ②	10 a 当たり 平年収量 ③	作況指数 ④＝②／③	予 想 収 穫 量（子 実 用）			参 考	
	実 数 ①	前 年 産 と の 比 較					実 数 ⑤＝①×②	前 年 産 と の 比 較		主食用作付 見込面積 ⑥	予想収穫量 （主食用） ⑦＝⑥×②
		対 差	対 比					対 差	対 比		
	ha	ha	%	kg	kg		t	t	%	ha	t
全 国	1,573,000	△ 24,000	98	536	530	101	8,438,000	△ 165,000	98	1,474,000	7,885,000
北 海 道	111,000	△ 1,000	99	577	537	107	640,500	11,100	102	103,500	597,200
東 北	402,500	△ 3,700	99	585	559	105	2,354,000	26,000	101	361,100	2,109,000
北 陸	212,500	△ 200	100	536	534	100	1,139,000	△ 21,000	98	190,000	1,019,000
関 東・東 山	292,800	△ 6,100	98	545	535	102	1,595,000	△ 40,000	98	279,800	1,524,000
東 海	99,700	△ 2,600	97	497	503	99	495,100	△ 29,700	94	97,500	483,600
近 畿	108,000	△ 1,400	99	497	509	98	537,100	△ 30,100	95	104,500	519,900
中 国	112,600	△ 2,600	98	495	517	96	556,900	△ 30,700	95	108,700	536,600
四 国	55,300	△ 1,100	98	463	484	96	256,200	△ 16,800	94	54,500	253,000
九 州	178,200	△ 5,300	97	484	502	96	861,900	△ 33,800	96	173,700	840,500
沖 縄	860	△ 30	97	279	309	90	2,400	10	100	860	2,400

注：1 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

2 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

表 4 ふるい目幅別重量分布状況(全国農業地域別概数値)

全 国 農業地域	区 分	計	ふ る い 目 幅					
			1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
全 国	重 量 割 合（％）	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
	平 均 値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2
北 海 道	重 量 割 合（％）	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	9.3	85.5
	平 均 値	100.0	0.6	1.0	1.5	2.1	13.1	81.7
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 3.8	3.8
東 北	重 量 割 合（％）	100.0	0.6	1.1	1.5	2.1	11.4	83.3
	平 均 値	100.0	0.5	0.8	1.4	2.1	12.1	83.1
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	△ 0.7	0.2
北 陸	重 量 割 合（％）	100.0	0.6	1.2	1.5	2.1	12.7	81.9
	平 均 値	100.0	0.6	1.0	1.5	2.0	12.9	82.0
	対 平 均 差	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	△ 0.2	△ 0.1
関 東・東 山	重 量 割 合（％）	100.0	0.7	1.2	2.1	3.0	18.4	74.6
	平 均 値	100.0	0.8	1.3	2.3	3.3	19.2	73.1
	対 平 均 差	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.8	1.5
東 海	重 量 割 合（％）	100.0	0.9	1.6	2.2	2.7	15.3	77.3
	平 均 値	100.0	0.9	1.1	1.6	2.6	13.2	80.6
	対 平 均 差	0.0	0.0	0.5	0.6	0.1	2.1	△ 3.3
近 畿	重 量 割 合（％）	100.0	1.0	1.6	2.3	2.6	14.6	77.9
	平 均 値	100.0	0.9	1.4	2.2	2.7	13.7	79.1
	対 平 均 差	0.0	0.1	0.2	0.1	△ 0.1	0.9	△ 1.2
中 国	重 量 割 合（％）	100.0	1.0	1.5	2.2	2.5	14.2	78.6
	平 均 値	100.0	0.8	1.2	1.7	2.3	12.4	81.6
	対 平 均 差	0.0	0.2	0.3	0.5	0.2	1.8	△ 3.0
四 国	重 量 割 合（％）	100.0	1.3	2.1	2.9	4.1	20.6	69.0
	平 均 値	100.0	1.0	1.7	2.5	3.8	17.9	73.1
	対 平 均 差	0.0	0.3	0.4	0.4	0.3	2.7	△ 4.1
九 州	重 量 割 合（％）	100.0	1.4	2.5	3.4	4.6	22.1	66.0
	平 均 値	100.0	1.1	2.0	2.8	4.4	20.7	69.0
	対 平 均 差	0.0	0.3	0.5	0.6	0.2	1.4	△ 3.0

表5 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）
（全国農業地域別概数値）

全 国 農業地域	区 分	ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量(子実用)					
		1.70mm 選別	1.75mm 選別	1.80mm 選別	1.85mm 選別	1.90mm 選別	2.00mm 選別
全 国	10 a 当たり収量 (kg)	536	532	524	513	499	420
	収穫量 (子実用) (t)	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
北 海 道	10 a 当たり収量 (kg)	577	573	566	558	547	493
	収穫量 (子実用) (t)	640,500	636,000	628,300	619,400	607,200	547,600
東 北	10 a 当たり収量 (kg)	585	581	575	566	554	487
	収穫量 (子実用) (t)	2,354,000	2,340,000	2,314,000	2,279,000	2,229,000	1,961,000
北 陸	10 a 当たり収量 (kg)	536	533	526	518	507	439
	収穫量 (子実用) (t)	1,139,000	1,132,000	1,118,000	1,101,000	1,077,000	932,800
関東・東山	10 a 当たり収量 (kg)	545	541	535	523	507	407
	収穫量 (子実用) (t)	1,595,000	1,584,000	1,565,000	1,531,000	1,483,000	1,190,000
東 海	10 a 当たり収量 (kg)	497	493	485	474	460	384
	収穫量 (子実用) (t)	495,100	490,600	482,700	471,800	458,500	382,700
近 畿	10 a 当たり収量 (kg)	497	492	484	473	460	387
	収穫量 (子実用) (t)	537,100	531,700	523,100	510,800	496,800	418,400
中 国	10 a 当たり収量 (kg)	495	490	483	472	459	389
	収穫量 (子実用) (t)	556,900	551,300	543,000	530,700	516,800	437,700
四 国	10 a 当たり収量 (kg)	463	457	447	434	415	319
	収穫量 (子実用) (t)	256,200	252,900	247,500	240,100	229,600	176,800
九 州	10 a 当たり収量 (kg)	484	477	465	449	426	319
	収穫量 (子実用) (t)	861,900	849,800	828,300	799,000	759,300	568,900

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国及び農業地帯別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

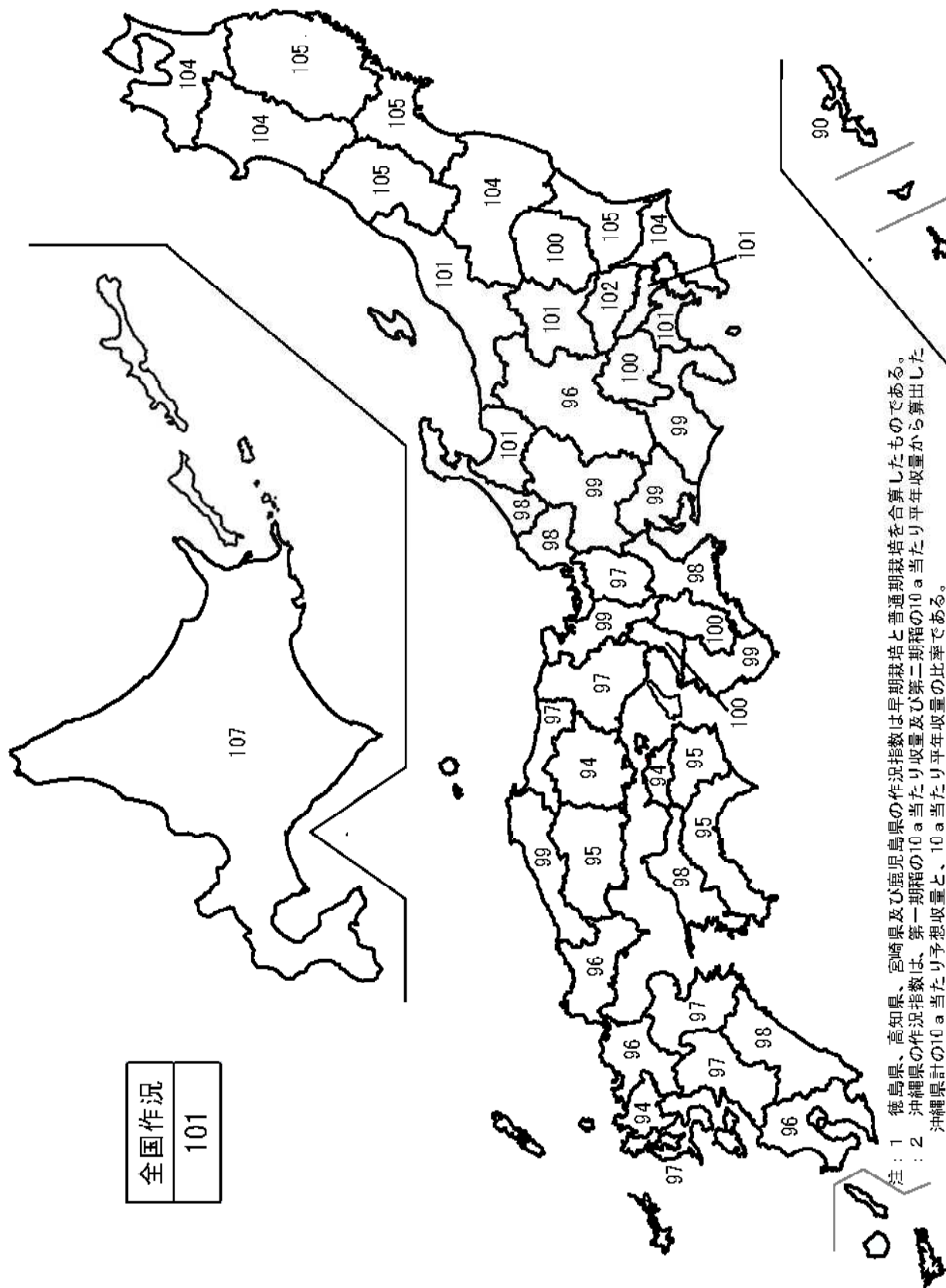
2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国及び農業地帯別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布（全国農業地域別）
【平成25年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

		単位：％					
区 分	合計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.0mm 以上
全国農業地域							
全 国	100.0	0.5	2.4	25.5	37.7	32.7	1.2
北 海 道	100.0	－	－	4.0	14.0	72.4	9.6
東 北	100.0	－	－	0.3	18.4	81.2	0.1
北 陸	100.0	－	－	1.8	36.4	60.0	1.8
関東・東山	100.0	0.6	6.1	44.9	46.1	2.0	0.3
東 海	100.0	0.1	0.2	35.3	52.3	11.9	0.2
近 畿	100.0	2.7	4.9	41.4	32.0	17.0	2.0
中 国	100.0	－	0.4	14.0	78.5	6.3	0.8
四 国	100.0	0.5	7.6	71.9	19.8	0.2	－
九 州	100.0	0.5	3.8	44.0	45.0	6.6	0.1

注：この表は水稻作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

図2 全国・都道府県別作況指数（10月15日現在）



【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）・・・・・・・・10
- 2 平成26年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）・・・・・・・・12

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1, 000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 し ない
例	四捨五入する前（原数）	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

1 平成26年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積（子 実 用）			10 a 当たり 予想収量 ②	10 a 当たり 平年収量 ③	作 況 指 数 ④＝②／③
	実 数 ①	前 年 産 と の 比 較				
		対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	
全 国 (1)	1,573,000	△ 24,000	98	536	530	101
北 海 道 (2)	111,000	△ 1,000	99	577	537	107
青 森 (3)	48,600	△ 1,000	98	610	584	104
岩 手 (4)	55,000	△ 400	99	562	533	105
宮 城 (5)	71,100	△ 1,100	98	559	530	105
秋 田 (6)	91,700	△ 800	99	596	573	104
山 形 (7)	67,900	△ 400	99	623	594	105
福 島 (8)	68,200	0	100	560	537	104
茨 城 (9)	74,700	△ 1,200	98	548	522	105
栃 木 (10)	63,900	△ 2,300	97	538	540	100
群 馬 (11)	17,300	△ 300	98	501	494	101
埼 玉 (12)	34,400	△ 1,000	97	501	490	102
千 葉 (13)	60,200	△ 700	99	558	535	104
東 京 (14)	159	△ 2	99	416	411	101
神 奈 川 (15)	3,140	△ 10	100	500	493	101
新 潟 (16)	120,100	400	100	547	540	101
富 山 (17)	39,500	△ 200	99	541	537	101
石 川 (18)	26,600	△ 100	100	508	519	98
福 井 (19)	26,200	△ 300	99	510	519	98
山 梨 (20)	5,090	△ 170	97	547	547	100
長 野 (21)	33,900	△ 500	99	597	621	96
岐 阜 (22)	24,100	△ 600	98	482	488	99
静 岡 (23)	16,800	△ 300	98	514	521	99
愛 知 (24)	29,300	△ 1,000	97	504	507	99
三 重 (25)	29,500	△ 700	98	491	500	98
滋 賀 (26)	33,000	△ 400	99	502	518	97
京 都 (27)	15,200	△ 300	98	507	511	99
大 阪 (28)	5,550	△ 90	98	495	495	100
兵 庫 (29)	37,900	△ 500	99	487	504	97
奈 良 (30)	9,060	△ 130	99	514	513	100
和 歌 山 (31)	7,230	△ 150	98	492	495	99
鳥 取 (32)	13,600	△ 500	96	498	514	97
島 根 (33)	18,600	△ 500	97	503	509	99
岡 山 (34)	32,600	△ 500	98	493	526	94
広 島 (35)	25,600	△ 400	98	497	523	95
山 口 (36)	22,300	△ 600	97	483	504	96
徳 島 (37)	13,200	△ 200	99	452	474	95
早 期 栽 培 (38)	5,200	△ 90	98	448	463	97
普 通 栽 培 (39)	8,020	△ 110	99	454	480	95
香 川 (40)	14,400	△ 300	98	468	499	94
愛 媛 (41)	15,000	△ 300	98	490	498	98
高 知 (42)	12,700	△ 300	98	438	460	95
早 期 栽 培 (43)	7,400	△ 250	97	470	481	98
普 通 栽 培 (44)	5,330	△ 30	99	393	430	91
福 岡 (45)	37,500	△ 1,200	97	477	499	96
佐 賀 (46)	25,600	△ 1,100	96	490	522	94
長 崎 (47)	13,200	△ 300	98	463	478	97
熊 本 (48)	37,500	△ 900	98	501	515	97
大 分 (49)	22,900	△ 900	96	490	503	97
宮 崎 (50)	18,600	△ 300	98	487	497	98
早 期 栽 培 (51)	7,820	△ 180	98	488	480	102
普 通 栽 培 (52)	10,800	△ 100	99	486	511	95
鹿 児 島 (53)	22,900	△ 600	97	462	483	96
早 期 栽 培 (54)	5,320	△ 170	97	455	443	103
普 通 栽 培 (55)	17,600	△ 400	98	464	495	94
沖 縄 (56)	860	△ 30	97	279	309	90
第 一 期 稲 (57)	586	△ 10	98	325	370	88
第 二 期 稲 (58)	274	△ 20	93	...	...	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

予想収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑤=①×②	前 年 産 と の 比 較		主 食 用 作 付 見 込 面 積 ⑥	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑦=⑥×②	
	対 差	対 比			
t	t	%	ha	t	
8,438,000	△165,000	98	1,474,000	7,885,000	(1)
640,500	11,100	102	103,500	597,200	(2)
296,500	△ 6,100	98	42,200	257,400	(3)
309,100	8,800	103	51,200	287,700	(4)
397,400	△ 1,100	100	67,900	379,600	(5)
546,500	17,400	103	76,000	453,000	(6)
423,000	7,700	102	61,100	380,700	(7)
381,900	△ 700	100	62,600	350,600	(8)
409,400	△ 2,000	100	72,300	396,200	(9)
343,800	△ 19,600	95	58,300	313,700	(10)
86,700	△ 2,900	97	15,900	79,700	(11)
172,300	2,000	101	33,900	169,800	(12)
335,900	△ 1,500	100	58,300	325,300	(13)
661	△ 7	99	159	661	(14)
15,700	100	101	3,140	15,700	(15)
656,900	△ 7,400	99	105,300	576,000	(16)
213,700	△ 3,100	99	35,700	193,100	(17)
135,100	△ 4,300	97	24,300	123,400	(18)
133,600	△ 5,800	96	24,700	126,000	(19)
27,800	△ 1,200	96	5,040	27,600	(20)
202,400	△ 15,000	93	32,800	195,800	(21)
116,200	△ 6,100	95	23,500	113,300	(22)
86,400	△ 2,700	97	16,600	85,300	(23)
147,700	△ 9,600	94	28,400	143,100	(24)
144,800	△ 11,300	93	28,900	141,900	(25)
165,700	△ 11,000	94	31,300	157,100	(26)
77,100	△ 5,100	94	14,900	75,500	(27)
27,500	△ 800	97	5,540	27,400	(28)
184,600	△ 9,700	95	36,500	177,800	(29)
46,600	△ 1,800	96	9,040	46,500	(30)
35,600	△ 1,700	95	7,230	35,600	(31)
67,700	△ 5,500	92	13,000	64,700	(32)
93,600	△ 4,600	95	18,200	91,500	(33)
160,700	△ 8,800	95	31,100	153,300	(34)
127,200	△ 8,000	94	24,800	123,300	(35)
107,700	△ 3,800	97	21,500	103,800	(36)
59,700	△ 5,600	91	12,800	57,900	(37)
23,300	△ 1,500	94	...	...	(38)
36,400	△ 4,200	90	...	...	(39)
67,400	△ 6,500	91	14,200	66,500	(40)
73,500	△ 1,900	97	14,900	73,000	(41)
55,600	△ 2,800	95	12,700	55,600	(42)
34,800	△ 1,400	96	...	...	(43)
20,900	△ 1,300	94	...	...	(44)
178,900	△ 6,500	96	36,900	176,000	(45)
125,400	△ 5,200	96	25,300	124,000	(46)
61,100	△ 2,100	97	13,200	61,100	(47)
187,900	△ 4,900	97	36,100	180,900	(48)
112,200	△ 3,000	97	22,700	111,200	(49)
90,600	△ 3,000	97	17,400	84,700	(50)
38,200	100	100	...	...	(51)
52,500	△ 3,000	95	...	...	(52)
105,800	△ 9,100	92	22,200	102,600	(53)
24,200	△ 1,100	96	...	...	(54)
81,700	△ 7,800	91	...	...	(55)
2,400	10	100	860	2,400	(56)
1,900	△ 80	96	...	...	(57)
...	...	...	...	...	(58)

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a 当たり収量と第二期稲の10a 当たり平均収量を用いた。

2 平成26年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

都 道 府 県	刈 取 期							刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較					
				対平年	対前年		対平年差		
	月 日	月 日	月 日				%	ポ イント	
北 海 道	9. 14	9. 25	10. 4	1 日早	1 日遅		100	1	
青 森	9. 21	9. 30	10. 13	2 日早	1 日遅		100	6	
岩 手	9. 15	9. 30	10. 15	4 日早	2 日早		96	3	
宮 城	9. 18	9. 27	10. 10	4 日早	1 日早		98	0	
秋 田	9. 23	9. 29	10. 11	3 日早	並 み		98	1	
山 形	9. 20	9. 30	10. 9	1 日早	2 日遅		99	0	
福 島	9. 24	10. 8	…	1 日早	2 日遅		86	0	
茨 城	8. 31	9. 14	9. 28	1 日遅	1 日遅		100	0	
栃 木	9. 12	9. 20	10. 15	2 日早	並 み		95	1	
群 馬	9. 25	…	…	…	…		49	△ 7	
埼 玉	8. 30	9. 24	…	1 日遅	1 日遅		89	△ 3	
千 葉	8. 19	9. 3	9. 14	並 み	2 日遅		100	0	
東 京	9. 27	10. 4	…	2 日早	1 日早		90	2	
神 奈 川	9. 14	10. 4	…	並 み	6 日遅		89	0	
新 潟	9. 6	9. 21	10. 2	並 み	1 日遅		100	0	
富 山	8. 28	9. 15	9. 28	2 日早	1 日遅		100	0	
石 川	8. 26	9. 13	9. 26	並 み	1 日遅		100	0	
福 井	8. 21	9. 12	9. 29	1 日遅	2 日遅		100	0	
山 梨	9. 14	9. 30	…	並 み	4 日遅		90	△ 1	
長 野	9. 14	10. 1	…	2 日遅	5 日遅		92	△ 1	
岐 阜	8. 31	10. 3	…	1 日遅	1 日遅		76	△ 3	
静 岡	8. 24	9. 21	…	並 み	1 日遅		90	0	
愛 知	8. 28	10. 4	…	並 み	2 日遅		71	△ 1	
三 重	8. 22	9. 5	9. 22	2 日遅	4 日遅		100	0	
滋 賀	9. 7	9. 17	9. 28	並 み	2 日遅		100	0	
京 都	9. 9	9. 24	…	1 日遅	2 日遅		92	1	
大 阪	9. 15	10. 11	…	1 日早	並 み		76	3	
兵 庫	9. 8	9. 29	…	5 日遅	3 日遅		83	△ 1	
奈 良	9. 10	10. 12	…	3 日早	1 日早		63	5	
和 歌 山	8. 27	9. 20	10. 14	1 日遅	2 日遅		96	△ 1	
鳥 取	9. 12	9. 23	10. 13	1 日遅	1 日遅		97	0	
島 根	9. 4	9. 21	10. 12	4 日遅	6 日遅		97	△ 2	
岡 山	9. 12	10. 8	…	4 日遅	2 日遅		63	△ 2	
広 島	9. 10	9. 27	10. 15	2 日遅	5 日遅		95	△ 1	
山 口	9. 9	9. 26	…	2 日遅	3 日遅		94	△ 2	
徳 島	8. 16	8. 30	9. 9	8 日遅	10 日遅		100	0	
	8. 28	9. 14	10. 12	4 日遅	5 日遅		97	0	
香 川	8. 27	10. 2	…	1 日遅	1 日遅		78	△ 12	
愛 媛	8. 22	9. 25	…	2 日遅	3 日遅		92	△ 2	
高 知	8. 6	8. 19	8. 31	5 日遅	8 日遅		100	0	
	9. 23	10. 7	…	3 日遅	7 日遅		90	△ 2	
福 岡	9. 11	10. 5	…	2 日遅	4 日遅		78	△ 10	
佐 賀	9. 8	10. 13	…	4 日遅	5 日遅		56	△ 11	
長 崎	8. 27	10. 15	…	3 日遅	4 日遅		55	△ 12	
熊 本	8. 18	10. 10	…	3 日遅	5 日遅		56	△ 14	
大 分	9. 19	…	…	…	…		49	△ 2	
宮 崎	7. 27	8. 5	8. 14	2 日遅	6 日遅		100	0	
	10. 4	…	…	…	…		45	△ 16	
鹿 児 島	7. 26	8. 11	8. 23	6 日遅	9 日遅		100	0	
	10. 5	…	…	…	…		44	△ 11	
沖 縄	6. 8	6. 29	7. 10	3 日遅	5 日遅		100	0	
	…	…	…	…	…		-	-	

注：1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参 考】

参考 1－1	平成26年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況 (都道府県別概数値)	14
1－2	平成26年産水稻玄米のふるい目幅別10 a 当たり収量 (都道府県別概数値)	16
1－3	平成26年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量 (子実用) (都道府県別概数値)	17
参考 2	平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布 (都道府県別) . . .	18
参考 3	平成26年産水稻の作柄表示地帯別作況指数 (10月15日現在)	19
参考 4	収穫量調査の流れ	21
参考 5	作況標本筆とは	22

利用上の注意

- 1 参考の統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 し ない
例	四捨五入する前 (原数)	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
- 「－」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの

【参考１－１】

平成26年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（都道府県別概数値）

全 都 道 府 県		ふるい目幅別重量分布状況						
		計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
		%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)		100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
北 海 道 (2)		100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	9.3	85.5
青 森 (3)		100.0	0.8	1.1	1.6	1.9	9.9	84.7
岩 手 (4)		100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	11.2	83.6
宮 城 (5)		100.0	0.7	0.9	1.4	1.7	11.1	84.2
秋 田 (6)		100.0	0.6	1.2	1.6	2.8	12.5	81.3
山 形 (7)		100.0	0.6	0.9	1.2	2.2	11.7	83.4
福 島 (8)		100.0	0.4	1.2	1.6	2.0	11.2	83.6
茨 城 (9)		100.0	0.2	1.1	1.7	2.5	15.7	78.8
栃 木 (10)		100.0	0.8	1.2	2.3	2.8	19.7	73.2
群 馬 (11)		100.0	1.4	1.6	3.1	6.1	22.7	65.1
埼 玉 (12)		100.0	1.1	1.5	2.7	3.7	24.5	66.5
千 葉 (13)		100.0	0.6	0.9	1.9	2.6	17.8	76.2
東 京 (14)		100.0	1.6	2.4	3.7	4.9	25.9	61.5
神 奈 川 (15)		100.0	2.0	1.8	4.0	4.5	23.4	64.3
新 潟 (16)		100.0	0.6	1.2	1.5	2.0	11.4	83.3
富 山 (17)		100.0	0.5	1.0	1.3	2.1	14.9	80.2
石 川 (18)		100.0	0.7	1.0	1.3	1.9	11.3	83.8
福 井 (19)		100.0	0.8	1.5	1.9	2.7	17.3	75.8
山 梨 (20)		100.0	1.2	1.8	2.0	3.7	17.7	73.6
長 野 (21)		100.0	1.0	1.7	1.8	3.0	15.6	76.9
岐 阜 (22)		100.0	1.1	1.7	2.3	2.9	15.8	76.2
静 岡 (23)		100.0	0.7	1.4	2.0	2.8	15.0	78.1
愛 知 (24)		100.0	0.9	1.4	2.1	2.7	16.4	76.5
三 重 (25)		100.0	1.0	1.8	2.4	2.6	13.8	78.4
滋 賀 (26)		100.0	1.1	1.8	2.3	2.7	14.1	78.0
京 都 (27)		100.0	0.7	1.5	1.7	1.5	10.5	84.1
大 阪 (28)		100.0	1.3	2.1	4.3	3.4	19.6	69.3
兵 庫 (29)		100.0	1.1	1.5	2.5	3.0	17.2	74.7
奈 良 (30)		100.0	0.6	1.3	1.4	2.0	10.4	84.3
和 歌 山 (31)		100.0	0.9	1.6	2.1	2.4	13.9	79.1
鳥 取 (32)		100.0	1.0	1.4	1.8	2.8	12.8	80.2
島 根 (33)		100.0	0.9	1.3	2.0	2.0	11.4	82.4
岡 山 (34)		100.0	1.3	1.8	2.6	2.9	16.5	74.9
広 島 (35)		100.0	0.9	1.5	2.0	2.2	12.5	80.9
山 口 (36)		100.0	0.9	1.5	2.2	2.6	16.1	76.7
徳 島 (37)		100.0	1.6	2.1	3.5	3.6	20.0	69.2
早 期 栽 培 (38)		100.0	1.7	2.3	4.0	4.2	23.7	64.1
普 通 栽 培 (39)		100.0	1.5	2.0	3.2	3.2	17.7	72.4
香 川 (40)		100.0	1.5	2.9	3.8	5.5	26.7	59.6
愛 媛 (41)		100.0	1.3	2.0	2.8	4.2	20.9	68.8
高 知 (42)		100.0	0.8	1.1	1.5	2.7	13.4	80.5
早 期 栽 培 (43)		100.0	0.6	0.8	1.1	2.2	11.5	83.8
普 通 栽 培 (44)		100.0	1.1	1.6	2.1	3.4	16.6	75.2
福 岡 (45)		100.0	1.6	2.7	3.7	4.5	22.3	65.2
佐 賀 (46)		100.0	1.4	2.1	3.4	3.6	19.4	70.1
長 崎 (47)		100.0	1.3	2.8	3.6	5.2	25.9	61.2
熊 本 (48)		100.0	1.3	2.4	3.3	4.1	20.9	68.0
大 分 (49)		100.0	1.6	3.2	3.6	7.0	25.8	58.8
宮 崎 (50)		100.0	1.2	1.8	2.6	4.0	22.6	67.8
早 期 栽 培 (51)		100.0	0.7	1.0	1.4	2.4	19.0	75.5
普 通 栽 培 (52)		100.0	1.5	2.3	3.4	5.1	25.3	62.4
鹿 児 島 (53)		100.0	1.2	2.1	3.1	4.1	20.5	69.0
早 期 栽 培 (54)		100.0	1.0	1.5	2.4	3.4	20.3	71.4
普 通 栽 培 (55)		100.0	1.3	2.3	3.3	4.3	20.5	68.3
沖 縄 (56)		...	...	...	...	...	...	...

注：１ ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめ
たものであり、収穫期の遅い遅場地帯においては、次回公表において割合が変動することがある（以下同じ。）。

２ 沖縄県については、10月15日現在で、第二期稲が収穫前でデータが揃わないため「・・・」で示した。

12月上旬公表予定の「平成26年産水陸稲の収穫量」に掲載を予定している（以下同じ。）。

対平均差							
計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上	
0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2	(1)
0.0	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 3.8	3.8	(2)
0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 1.0	(3)
0.0	0.2	0.5	0.2	0.2	△ 0.3	△ 0.8	(4)
0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	△ 1.4	0.7	(5)
0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.7	0.8	(6)
0.0	0.0	0.2	△ 0.2	0.1	△ 1.8	1.7	(7)
0.0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	△ 0.9	(8)
0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.7	△ 2.4	4.2	(9)
0.0	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.7	1.0	(10)
0.0	0.1	△ 0.3	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.5	(11)
0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.1	0.8	(12)
0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.7	3.1	(13)
0.0	0.8	1.1	1.3	1.2	7.7	△ 12.1	(14)
0.0	0.5	0.4	1.2	0.9	5.3	△ 8.3	(15)
0.0	0.1	0.2	△ 0.1	0.1	△ 0.8	0.5	(16)
0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.2	△ 0.7	(17)
0.0	0.2	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.4	0.2	(18)
0.0	0.1	0.3	0.3	0.0	2.4	△ 3.1	(19)
0.0	0.3	0.3	△ 0.1	0.6	△ 0.7	△ 0.4	(20)
0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	1.7	△ 3.2	(21)
0.0	0.2	0.6	0.7	0.1	3.4	△ 5.0	(22)
0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	3.1	△ 5.1	(23)
0.0	0.2	0.5	0.7	0.6	3.7	△ 5.7	(24)
0.0	△ 0.2	0.4	0.6	△ 0.6	△ 1.1	0.9	(25)
0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.7	△ 1.6	(26)
0.0	0.1	0.4	0.2	△ 0.3	0.8	△ 1.2	(27)
0.0	0.1	0.3	0.5	△ 0.4	1.8	△ 2.3	(28)
0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	2.3	△ 2.6	(29)
0.0	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 4.2	6.2	(30)
0.0	△ 0.1	0.2	0.3	0.0	0.6	△ 1.0	(31)
0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	2.0	△ 3.0	(32)
0.0	0.3	0.4	0.6	△ 0.1	0.2	△ 1.4	(33)
0.0	0.5	0.5	0.7	0.5	3.6	△ 5.8	(34)
0.0	0.2	0.3	0.4	0.2	1.1	△ 2.2	(35)
0.0	0.0	0.1	0.3	△ 0.3	1.2	△ 1.3	(36)
0.0	0.5	0.5	1.2	0.5	6.2	△ 8.9	(37)
0.0	0.7	0.9	2.0	1.6	10.4	△ 15.6	(38)
0.0	0.4	0.2	0.7	△ 0.2	3.6	△ 4.7	(39)
0.0	0.3	0.4	0.1	0.0	1.2	△ 2.0	(40)
0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	4.0	△ 6.0	(41)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 1.4	2.0	(42)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 2.5	3.4	(43)
0.0	0.0	0.1	0.0	△ 0.4	0.5	△ 0.2	(44)
0.0	0.4	0.6	0.9	0.1	3.6	△ 5.6	(45)
0.0	0.1	0.2	0.7	0.0	1.3	△ 2.3	(46)
0.0	0.0	0.8	0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2	(47)
0.0	0.2	0.6	0.4	0.0	△ 0.3	△ 0.9	(48)
0.0	0.3	0.5	0.0	0.9	0.9	△ 2.6	(49)
0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	2.8	△ 3.8	(50)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	2.6	△ 2.2	(51)
0.0	0.3	0.5	0.6	0.5	3.1	△ 5.0	(52)
0.0	0.3	0.6	0.7	0.2	0.9	△ 2.7	(53)
0.0	0.2	0.3	0.3	△ 0.3	△ 3.0	2.5	(54)
0.0	0.3	0.7	0.8	0.4	1.9	△ 4.1	(55)
...	...	...	...	...	...	...	(56)

3 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

4 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

【参考 1－2】

平成26年産水稻玄米のふるい目幅別10 a 当たり収量（都道府県別概数値）

単位：kg

全 国 都 道 府 県	1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
全 国	536	532	524	513	499	420
北 海 道	577	573	566	558	547	493
青 森	610	605	598	589	577	517
岩 手	562	558	551	543	533	470
宮 城	559	555	550	542	533	471
秋 田	596	592	585	576	559	485
山 形	623	619	614	606	592	520
福 島	560	558	551	542	531	468
茨 城	548	547	541	532	518	432
栃 木	538	534	527	515	500	394
群 馬	501	494	486	470	440	326
埼 玉	501	495	488	474	456	333
千 葉	558	555	550	539	525	425
東 京	416	409	399	384	364	256
神 奈 川	500	490	481	461	439	322
新 潟	547	544	537	529	518	456
富 山	541	538	533	526	514	434
石 川	508	504	499	493	483	426
福 井	510	506	498	489	475	387
山 梨	547	540	531	520	499	403
長 野	597	591	581	570	552	459
岐 阜	482	477	469	457	443	367
静 岡	514	510	503	493	479	401
愛 知	504	499	492	482	468	386
三 重	491	486	477	465	453	385
滋 賀	502	496	487	476	462	392
京 都	507	503	496	487	480	426
大 阪	495	489	478	457	440	343
兵 庫	487	482	474	462	448	364
奈 良	514	511	504	497	487	433
和 歌 山	492	488	480	469	458	389
鳥 取	498	493	486	477	463	399
島 根	503	498	492	482	472	414
岡 山	493	487	478	465	451	369
広 島	497	493	485	475	464	402
山 口	483	479	471	461	448	370
徳 島	452	445	435	419	403	313
早 期 栽 培	448	440	430	412	393	287
普 通 栽 培	454	447	438	424	409	329
香 川	468	461	447	430	404	279
愛 媛	490	484	474	460	440	337
高 知	438	434	430	423	411	353
早 期 栽 培	470	467	463	458	448	394
普 通 栽 培	393	389	382	374	361	296
福 岡	477	469	456	439	417	311
佐 賀	490	483	473	456	439	343
長 崎	463	457	444	427	403	283
熊 本	501	494	482	466	445	341
大 分	490	482	466	449	415	288
宮 崎	487	481	472	460	440	330
早 期 栽 培	488	485	480	473	461	368
普 通 栽 培	486	479	468	451	426	303
鹿 児 島	462	456	447	432	413	319
早 期 栽 培	455	450	444	433	417	325
普 通 栽 培	464	458	447	432	412	317
沖 縄	...	...	...	...	...	...

注： ふるい目幅別の10 a 当たり収量とは、都道府県の10 a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【参考 1－3】

平成26年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（都道府県別概数値）

単位：t

全 国 都 道 府 県						
	1.70mm 選 別	1.75mm 選 別	1.80mm 選 別	1.85mm 選 別	1.90mm 選 別	2.00mm 選 別
全 国	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
北 海 道	640,500	636,000	628,300	619,400	607,200	547,600
青 森	296,500	294,100	290,900	286,100	280,500	251,100
岩 手	309,100	306,900	303,200	298,900	293,000	258,400
宮 城	397,400	394,600	391,000	385,500	378,700	334,600
秋 田	546,500	543,200	536,700	527,900	512,600	444,300
山 形	423,000	420,500	416,700	411,600	402,300	352,800
福 島	381,900	380,400	375,800	369,700	362,000	319,300
茨 城	409,400	408,600	404,100	397,100	386,900	322,600
栃 木	343,800	341,100	336,900	329,000	319,400	251,700
群 馬	86,700	85,500	84,100	81,400	76,100	56,400
埼 玉	172,300	170,400	167,800	163,200	156,800	114,600
千 葉	335,900	333,900	330,900	324,500	315,700	256,000
東 京	661	650	635	610	578	407
神 奈 川	15,700	15,400	15,100	14,500	13,800	10,100
新 潟	656,900	653,000	645,100	635,200	622,100	547,200
富 山	213,700	212,600	210,500	207,700	203,200	171,400
石 川	135,100	134,200	132,800	131,000	128,500	113,200
福 井	133,600	132,500	130,500	128,000	124,400	101,300
山 梨	27,800	27,500	27,000	26,400	25,400	20,500
長 野	202,400	200,400	196,900	193,300	187,200	155,600
岐 阜	116,200	114,900	112,900	110,300	106,900	88,500
静 岡	86,400	85,800	84,600	82,900	80,400	67,500
愛 知	147,700	146,400	144,300	141,200	137,200	113,000
三 重	144,800	143,400	140,700	137,300	133,500	113,500
滋 賀	165,700	163,900	160,900	157,100	152,600	129,200
京 都	77,100	76,600	75,400	74,100	72,900	64,800
大 阪	27,500	27,100	26,600	25,400	24,400	19,100
兵 庫	184,600	182,600	179,800	175,200	169,600	137,900
奈 良	46,600	46,300	45,700	45,100	44,100	39,300
和 歌 山	35,600	35,300	34,700	34,000	33,100	28,200
鳥 取	67,700	67,000	66,100	64,900	63,000	54,300
島 根	93,600	92,800	91,500	89,700	87,800	77,100
岡 山	160,700	158,600	155,700	151,500	146,900	120,400
広 島	127,200	126,100	124,100	121,600	118,800	102,900
山 口	107,700	106,700	105,100	102,700	99,900	82,600
徳 島	59,700	58,700	57,500	55,400	53,300	41,300
早 期 栽 培	23,300	22,900	22,400	21,400	20,500	14,900
普 通 栽 培	36,400	35,900	35,100	34,000	32,800	26,400
香 川	67,400	66,400	64,400	61,900	58,200	40,200
愛 媛	73,500	72,500	71,100	69,000	65,900	50,600
高 知	55,600	55,200	54,500	53,700	52,200	44,800
早 期 栽 培	34,800	34,600	34,300	33,900	33,200	29,200
普 通 栽 培	20,900	20,700	20,300	19,900	19,200	15,700
福 岡	178,900	176,000	171,200	164,600	156,500	116,600
佐 賀	125,400	123,600	121,000	116,700	112,200	87,900
長 崎	61,100	60,300	58,600	56,400	53,200	37,400
熊 本	187,900	185,500	180,900	174,700	167,000	127,800
大 分	112,200	110,400	106,800	102,800	94,900	66,000
宮 崎	90,600	89,500	87,900	85,500	81,900	61,400
早 期 栽 培	38,200	37,900	37,600	37,000	36,100	28,800
普 通 栽 培	52,500	51,700	50,500	48,700	46,000	32,800
鹿 児 島	105,800	104,500	102,300	99,000	94,700	73,000
早 期 栽 培	24,200	24,000	23,600	23,000	22,200	17,300
普 通 栽 培	81,700	80,600	78,800	76,100	72,600	55,800
沖 縄	...	...	...	...	...	...

注： ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【参考 2】

平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布（都道府県別）

【平成25年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

全 国 ・ 都 道 府 県	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm 以 上
全 国	100.0	0.5	2.4	25.5	37.7	32.7	1.2
北 海 道	100.0	－	－	4.0	14.0	72.4	9.6
青 森	100.0	－	－	－	1.8	98.2	－
岩 手	100.0	－	－	0.6	4.5	94.9	－
宮 城	100.0	－	－	－	1.7	98.0	0.3
秋 田	100.0	－	－	0.8	25.3	73.9	－
山 形	100.0	－	－	－	17.5	82.2	0.3
福 島	100.0	－	－	0.3	60.8	38.9	－
茨 城	100.0	0.4	2.6	22.4	73.9	0.7	－
栃 木	100.0	－	0.3	4.9	94.8	－	－
群 馬	100.0	0.6	4.2	85.6	6.0	3.6	－
埼 玉	100.0	1.6	34.4	53.1	9.9	1.0	－
千 葉	100.0	1.1	3.2	86.8	8.9	－	－
東 京	100.0	－	－	100.0	－	－	－
神 奈 川	100.0	2.2	11.1	80.0	6.7	－	－
新 潟	100.0	－	－	3.1	61.4	33.6	1.9
富 山	100.0	－	－	0.7	9.6	87.9	1.8
石 川	100.0	－	－	2.2	48.9	48.9	－
福 井	100.0	－	－	－	0.8	96.2	3.0
山 梨	100.0	－	－	97.0	3.0	－	－
長 野	100.0	－	0.4	21.2	69.0	7.6	1.8
岐 阜	100.0	－	－	42.4	52.5	4.0	1.1
静 岡	100.0	－	1.0	60.3	38.2	0.5	－
愛 知	100.0	0.5	－	18.6	41.4	39.5	－
三 重	100.0	－	－	24.7	72.8	2.5	－
滋 賀	100.0	－	0.5	7.8	33.9	57.3	0.5
京 都	100.0	0.6	－	29.5	53.0	16.3	0.6
大 阪	100.0	31.1	40.5	28.4	－	－	－
兵 庫	100.0	0.4	5.0	39.7	47.1	1.2	6.6
奈 良	100.0	－	－	83.4	15.7	0.9	－
和 歌 山	100.0	－	1.9	98.1	－	－	－
鳥 取	100.0	－	－	5.2	92.1	2.0	0.7
島 根	100.0	－	0.6	11.5	78.2	8.6	1.1
岡 山	100.0	－	0.8	18.0	80.0	0.4	0.8
広 島	100.0	－	0.8	37.6	57.6	3.2	0.8
山 口	100.0	－	－	2.2	79.4	17.9	0.5
徳 島	100.0	0.6	7.1	89.7	2.6	－	－
香 川	100.0	0.7	18.1	75.4	5.8	－	－
愛 媛	100.0	－	3.9	48.7	47.4	－	－
高 知	100.0	0.8	0.8	74.5	23.1	0.8	－
福 岡	100.0	－	0.7	12.3	86.3	－	0.7
佐 賀	100.0	－	－	1.4	55.8	42.8	－
長 崎	100.0	5.3	27.6	50.7	15.1	1.3	－
熊 本	100.0	－	2.1	39.6	57.9	0.4	－
大 分	100.0	－	1.5	55.9	42.1	0.5	－
宮 崎	100.0	－	1.0	97.5	1.5	－	－
鹿 児 島	100.0	－	－	85.9	14.1	－	－
沖 縄	100.0	9.1	18.2	72.7	－	－	－

注：この表は水稻作況標本（基準）筆農家が選別に使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

【参考3】

平成26年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
北海道 (107)	石狩	108	群馬 (101)	中毛	101
	南空知	108		北毛	94
	北空知	107		東毛	104
	上川	108			
	留萌	109	埼玉 (102)	東部	102
	渡島	105		西部	102
	檜山	106	千葉 (104)	京葉	104
	後志	107		十九里	104
	胆振	108		南房総	104
	日高 オホーツク・十勝	108 115			
青森 (104)	青森	104	東京 (101)	東京	101
	津軽	104			
	南部・下北	106	神奈川 (101)	神奈川	101
岩手 (105)					
	北上川上流	105	新潟 (101)	岩船	104
	北上川下流	105		下越北	101
	東部	105		下越南	103
	北部	106		中越	100
宮城 (105)				魚沼	102
	南部	106		上越	102
	中部	105		佐渡	98
	北部	105	富山 (101)	富山	101
秋田 (104)	東部	104			
	県北	104			
	県中央	104	石川 (98)	加賀	97
	県南	103		能登	98
山形 (105)			福井 (98)	嶺北	98
	村山	105		嶺南	98
	最上	104	山梨 (100)	山梨	100
	置賜	104			
	庄内	105			
福島 (104)			長野 (96)	東信	95
	中通り	104		南信	95
	浜通り	104		中信	95
	会津	103		北信	101
茨城 (105)			岐阜 (99)	西濃	99
	北部	106		中濃	98
	鹿行	106		東濃	99
	南西部	106		飛騨	99
	西部	103	静岡 (99)	東部	98
栃木 (100)				西部	99
	北部	100			
	中部	99			
	南部	99			

注：西南暖地の早期栽培等の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培と普通栽培を合算したものである。なお、沖縄県の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量を用いた。

【参考3（続き）】

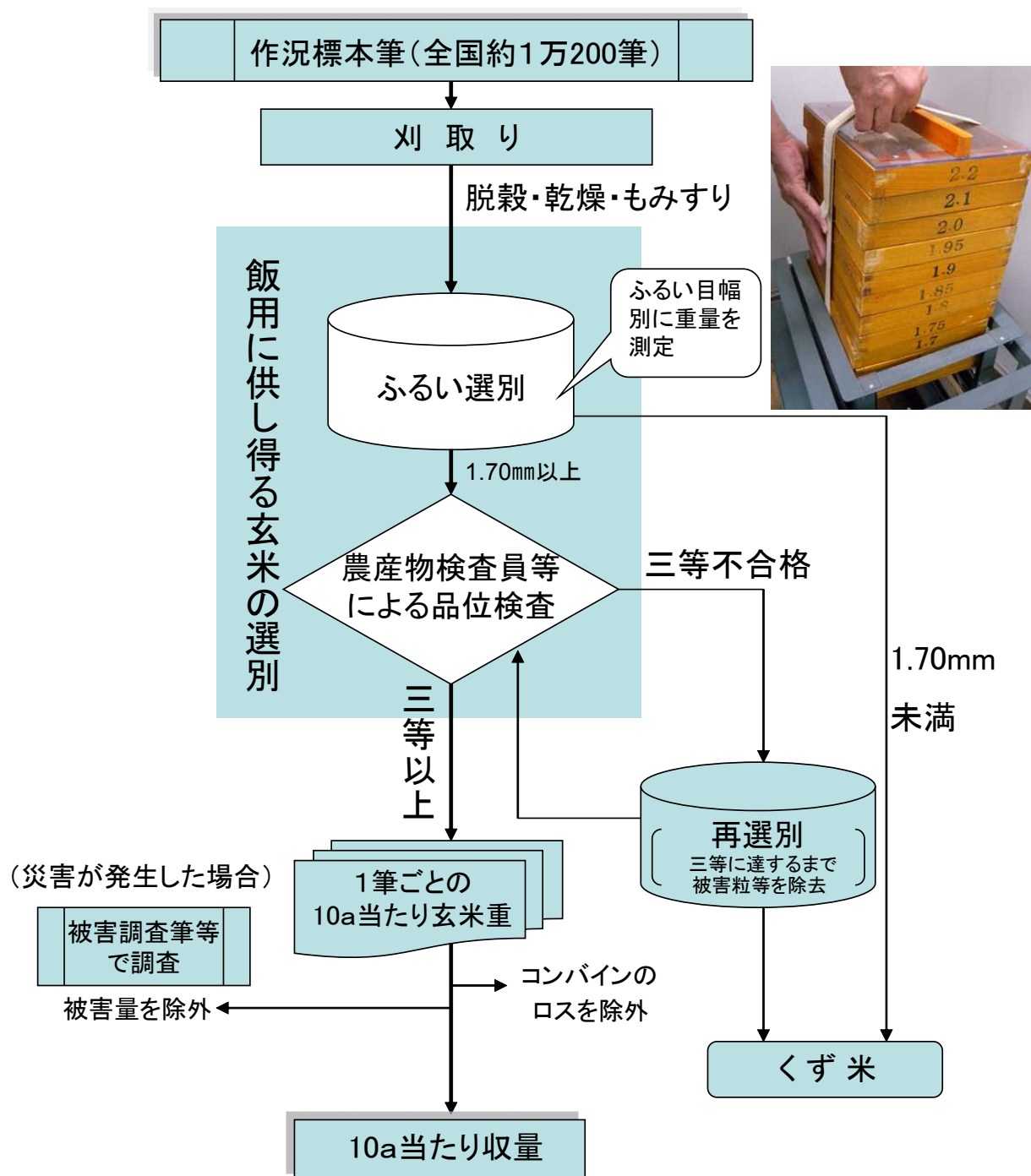
平成26年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都 道 府 県 （ 作 況 指 数 ）	作 柄 表 示 地 帯	作 況 指 数	都 道 府 県 （ 作 況 指 数 ）	作 柄 表 示 地 帯	作 況 指 数
愛 知 (99)	尾 張	99	高 知 (95)	中 東 部	96
	西 三 河	100		西 部	93
	東 三 河	100			
三 重 (98)	北 勢	98	福 岡 (96)	福 岡	97
	中 勢	98		北 東 部	97
	南 勢	98		筑 後	95
	伊 賀	99	佐 賀 (94)	佐 賀	94
滋 賀 (97)	湖 南	97		松 浦	95
	湖 北	97	長 崎 (97)	南 部	95
京 都 (99)	南 部	100		北 部	99
	北 部	98		五 島	97
大 阪 (100)	大 阪	100		杵 岐 ・ 対 馬	102
兵 庫 (97)	県 南	96	熊 本 (97)	県 北	97
	県 北	98		阿 蘇	97
	淡 路	98		県 南	98
奈 良 (100)	奈 良	100	大 分 (97)	天 草	98
				北 部	97
和 歌 山 (99)	和 歌 山	99		湾 岸	97
				南 部	98
鳥 取 (97)	東 部	98		日 田	96
	西 部	96	宮 崎 (98)	広 域 沿 海	100
島 根 (99)	出 雲	99		広 域 霧 島	95
	石 見	97		西 北 山 間	96
岡 山 (94)	南 部	95	鹿 児 島 (96)	薩 摩 半 島	98
	中 北 部	92		出 水 薩 摩	94
広 島 (95)	南 部	97		伊 佐 始 良	93
	北 部	93		大 隅 半 島	98
山 口 (96)	東 部	94		熊 毛 ・ 大 島	100
	西 部	97	沖 縄 (90)	沖 縄 諸 島	94
	長 北	94		八 重 山	89
徳 島 (95)	北 部	95			
	南 部	96			
香 川 (94)	香 川	94			
愛 媛 (98)	東 予	100			
	中 予	97			
	南 予	97			

【参考 4】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 5】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

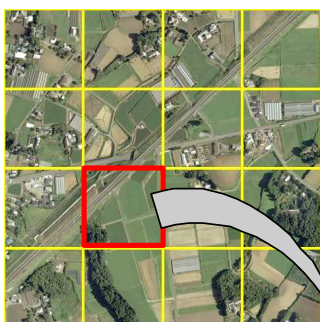


【参考 5】

ふで 作況標本筆とは

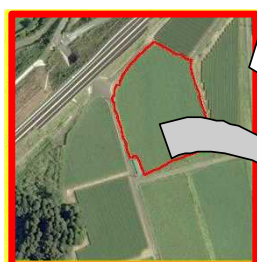
ふで
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼ぶ。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万200筆)調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



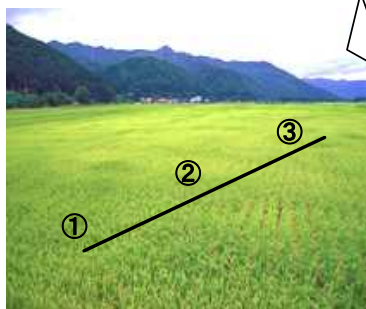
- ① 全国の全ての土地を20m四方(北海道は、400m四方)に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きのような選び方)により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(20m四方の土地)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万200筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所 属 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関 東 ・ 東 山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖 縄	沖縄

3 調査対象数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：39,369単位区 巡回・見積り：1,720市町村
- (2) 予想収穫量調査
作況標本筆：10,248筆 作況基準筆：648筆 巡回・見積り：1,720市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

6 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。
- (2) 予想収穫量調査
調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。
ふるい目幅別の調査は、刈取り・もみすりした粗玄米を縦目ふるい（目幅が2.20mm～1.60mmの範囲の縦目ふるい）により、ふるい目幅別に選別し重量を計測することにより行った。

7 集計方法

- (1) 作付面積調査
対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
- (2) 予想収穫量調査
調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

ふるい目幅別については、ふるい目幅別の重量の計測結果を所定の日幅(2.00、1.90、1.85、1.80、1.75、1.70)ごとに集計し取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの(WCS用稲、わら専用稲等を含む。)のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。
- (3) 「10a当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

9 その他

- (1) 本調査(10月15日現在)は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- (2) 本調査についての確定値は、「平成26年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

平成27年2月1日現在で、
2015年農林業センサスを実施します。

- 農林業経営体調査
(平成26年12月中旬～平成27年2月末)
- 農山村地域調査(平成27年4～6月末)



農林業センサス

円滑な調査の実施に向けて、
ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページ
URL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 面積統計班
電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681
(直通) 03-6744-2045
FAX： 03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682
(直通) 03-3502-5687
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589
(直通) 03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644

平成26年産水稻における青死米等の発生状況について

平成26年10月30日
大臣官房統計部
生産局

本年は、北海道から関東・東山では全もみ数が総じて多いことや、8月以降の天候が低温や日照不足傾向であったことから、登熟にバラツキがみられるとともに、青死米等の混入も多い状況となっている。

このため、平成26年産水稻の青死米等の発生状況の実態を把握するため、10月15日現在の水稻収穫量調査に併せて、緊急に調査を実施した。

平成26年産水稻における青死米等の混入割合

	調査実施 サンプル数	青死米等の 混入割合
	点	%
全 国	1,001	6.4
北 海 道	59	17.3
東 北	197	3.9
北 陸	123	8.6
関 東 ・ 東 山	162	5.5
東 海	77	8.9
近 畿	81	9.0
中 国	99	4.0
四 国	62	5.3
九 州	141	2.9

注：1 水稻収穫量調査は、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当する玄米の全量を把握することを目的として実施しており、青死米等の割合が一定程度（農産物規格規程に定める三等品位相当）までであれば水稻収穫量調査においては収量として取り扱う。

2 青死米等の混入割合には、青死米のほか、白死米、着色粒、心白・腹白粒が含まれる。

【参考】

平成26年産の青死米等の混入割合の過去のデータとの比較

今回の調査結果について、過去との比較を行うため、一般社団法人日本精米工業会が同様の手法により平成22～24年産米で行った調査結果との比較を行ったところ、26年産は全国平均で2.1%の増加となっている。

	平成26年産 青死米等の 混入割合	(参考)	
		精米工業会調査に よる過去（平成22～ 24年産）の青死米 等の混入割合	26年産と過去の 平均との比較
	①	②	①－②
	%	%	
全 国	6.4	4.3	2.1
北 海 道	17.3	5.2	12.1
東 北	3.9	4.1	△ 0.2
北 陸	8.6	2.4	6.2
関 東 ・ 東 山	5.5	3.9	1.6
東 海	8.9	8.2	0.7
近 畿	9.0	2.8	6.2
中 国	4.0	4.5	△ 0.5
四 国	5.3	6.5	△ 1.2
九 州	2.9	4.9	△ 2.0

注：1 青死米等の混入割合には、青死米のほか、白死米、着色粒、心白・腹白粒が含まれる。

2 参考データの過去の青死米等の混入割合は、一般社団法人日本精米工業会の米質概況調査による過去データ（平成22～24年産）を基にブロック別に集計した。

なお、当該調査におけるサンプル数は390点（22年産米が147点、23年産米が124点、24年産米が119点）である。

【平成26年産水稻における青死米等調査の概要】

1 調査の目的

本年は、北海道から関東・東山では全もみ数が総じて多いことや、8月以降の天候が低温や日照不足傾向であったことから、登熟にバラツキがみられるとともに、青死米等の混入も多い状況となっている。

このため、本調査は、平成26年産水稻の青死米等の発生状況の実態を把握するため、緊急に実施したものである。

2 調査サンプル

調査に使用するサンプルは、道府県ごとに10月15日現在で水稻収穫量調査が終了し、地方農政局（北海道農政事務所を含む。以下同じ。）又は地域センターが保管している刈取り試料から選定したものとした。

また、サンプル数については、水稻収穫量調査のために設置している作況標本筆数の約1割の数とし、全国で1,001点である。

なお、作況標本筆の設置のない東京都及び沖縄県は除いた。

3 調査・集計方法

- (1) 使用サンプルは、地方農政局又は地域センターの作況標本筆から無作為に抽出した筆の刈取り試料について、水稻収穫量調査の算定に用いた1.70mm以上の米を20 g程度に縮分したものをを用いた。
- (2) 抽出したサンプルについては、地方農政局生産部局の検査技術指導官の指導の下、各地域センターにおいて縮分サンプルから青死米等（青死米、白死米、着色粒、心白・腹白粒）を仕分け、その重量を計測した。
- (3) 計測結果については、地方農政局の統計部と生産部局が協力の上集計し、1.70mm以上の重量に占める青死米等の混入割合を算出した。

4 調査した青死米等の解説

(1) 青死米



- 粒の大部分が粉状質の粒で光沢のないもののうち緑色のもの。

(2) 白死米



- 粒の大部分が粉状質の粒で光沢のないもののうち白色のもの。

(3) 着色粒



全面着色粒



部分着色粒

- 全面着色粒は、着色の濃淡に係わらず、着色が粒表面にあるもの。
- 部分着色粒は、着色の濃淡に係わらず、着色が粒の一部にあるもの。
- 着色粒にはこの他に赤米がある。

(4) 心白・腹白粒



心白粒



腹白粒

- 心白粒は、胚乳部の横断面に白色不透明な部分が平板上又は紡錘状となっているもの。
- 腹白粒は、腹部の白色不透明な部分の大きさが、その粒長の3分の2以上でかつ粒幅の3分の1以上のもの。

(参考)

農産物規格規程（農産物検査法第十一条に基づく告示）

- 品位（水稻うるち玄米及び水稻もち玄米）

項目 等級	最低限度		最高限度							
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物						
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒			異物 (%)
							もみ (%)	麦 (%)	もみ及び 麦を除いたもの (%)	
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.3	0.5	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.7	1.0	0.6

— お問合せ先 —

◎【調査の概要】の２及び３の(1)に関すること

農林水産省

大臣官房統計部 生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

◎【調査の概要】の３の(2)・(3)及び４、【参考】に関すること

生産局農産部 農産企画課 米穀需給班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線4975

(直通) 03-6738-8973